

○ その他

区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 再提案（・・・第 回総会； 市）		
種類	<input type="checkbox"/> 現行制度の改善又は拡充を求めるもの <input type="checkbox"/> 新たな施策の要望又は提案を求めるもの <input type="checkbox"/> 特に市町村への財政支援策等を求めるもの <input checked="" type="checkbox"/> その他（全国へ情報発信を求めるもの）	分野	<input type="checkbox"/> 総務文教 <input checked="" type="checkbox"/> 社会環境 <input type="checkbox"/> 経済 <input type="checkbox"/> 危機管理建設
要望先	<input checked="" type="checkbox"/> 国	担当省庁	内閣府
	<input checked="" type="checkbox"/> 県	担当部局	健康福祉部
	<input type="checkbox"/> その他	名称	
件名	15 人生100年時代を見据えた新しい高齢者の定義の発信等について		
提案市	長野市・松本市		
提案要旨	<p>超高齢社会、人口減少社会にあつて、社会の活力を失わないためには、年齢の概念にとらわれずに、65歳を超えても社会の一員として活躍し続けることが重要である。そのため、「高齢者」という呼び方を現在の65歳以上から75歳以上に改め、国において新しい高齢者の定義として全国へ向けて発信するとともに、高齢者がより活躍しやすい環境を形成することを要望する。</p>		
提案理由	<p>65歳以上を「高齢者」と呼ぶ定義は、50年以上前の国際連合の報告書が基と言われており、当時の日本人の平均寿命は65歳前後であったため「65歳＝高齢者」とすることには合理性があつたが、現在の平均寿命は80歳を超えており、従来の定義は実態に合わなくなっている。</p> <p>人生100年時代を見据え、「65歳＝高齢者」という意識を捨て、年齢にかかわらず希望と意欲が湧き、自分らしく活躍することができる社会の実現を目指すもの。</p>		
現況及び課題等	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年9月21日、長野市長並びに松本市長が人生100年時代を見据えた新しい高齢者の定義として、「75歳以上を高齢者と呼びましょう。」と共同提言を行った。 県市長会、町村会において上記提言の趣旨説明を行い、県内市町村長の理解を得るとともに、県知事の賛同も得た。 今後、県・松本市・長野市で具体的な取組等について協議を行う。 上記提言は、社会保障制度等の高齢者施策を変更するものではない。 		
関係法令			